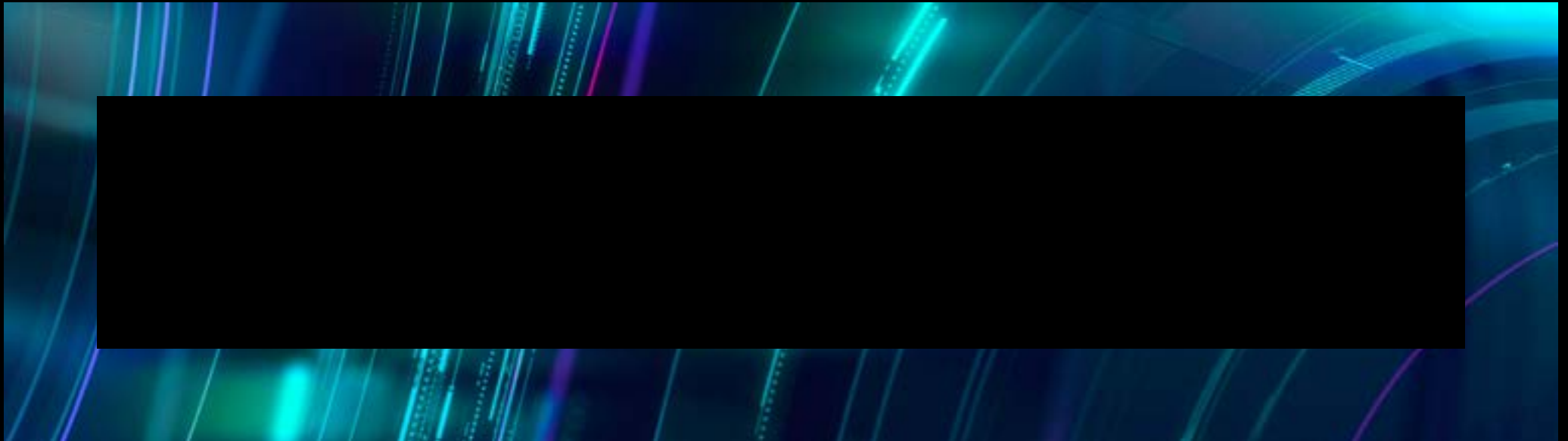




HPE PROLIANT:

ハイブリッドクラウドのインテリジェントな
コンピューティング基盤



HPE PROLIANT: ハイブリッドクラウドのインテリジェントな コンピューティング基盤



このe-ガイドでは、矢印をクリック
するとご覧になりたいセクション
に移動できます。

1. ハイブリッドクラウドの現状

最新のIT環境は今日のビジネスの中核であり、あらゆる人やモノがデータを生成し共有する社会で新たな価値やエクスペリエンスを生み出しています。オン/オフプレミス、ベアメタル、仮想化、コンテナ、またはパブリック/プライベート/エッジクラウドかを問わず、最新のIT環境では、ハイブリッドクラウドのあらゆる可能性に対応する必要があります。

一方で、ハイブリッドクラウドの実装や管理は簡単ではありません。多くの企業は、コスト増につながるオーバープロビジョニングや低使用率、固定資産に縛られた資本、スキルギャップ、人材不足、予測不可能なコストといった問題を抱えています。ITニーズの変化や増大に対応するためのハイブリッドクラウド戦略の策定が困難である場合も少なくありません。

このe-ガイドでは、企業がこうした複雑な状況を打開してハイブリッドクラウドの課題に対処するうえで役立つ、HPEの新たなアプローチについて説明します。



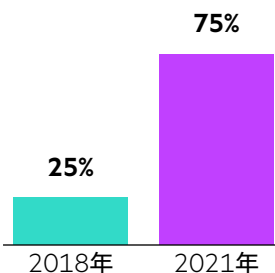
数字をクリックすると、各セクションに移動できます。ホームアイコンをクリックすると、目次ページに戻ります。

2. ハイブリッド クラウドの 3つの課題



課題1: ワークロードのパフォーマンスをリアルタイムで最適化する

企業がこれまでのように暗黙の了解に頼ったり、試行錯誤を繰り返したりするだけでは、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャのワークロードは最適化できません。しかし、ワークロードのパフォーマンス、配置、効率を最適化することで、ビジネス成果を向上させて価値実現時間を短縮することができます。ハイブリッドクラウドソリューションのサーバー基盤には、その時々で最大のパフォーマンスが得られるよう、パフォーマンスチューニングの推奨事項をリアルタイムで提示する機能が標準搭載されている必要があります。また、データ主導のガイダンスを通じてインテリジェントプランニングを実現することで、ワークロードの移行に必要な時間を短縮しつつ、移行コストを管理できます。



マルチクラウド対応のハイブリッドな統合型プラットフォームを実装している大規模なグローバル企業の割合は2021年までに75%以上に達し、2018年の25%未満から大きく増加すると予測されています¹。

¹ 『2019年のコンピューティングインフラストラクチャの戦略的ロードマップ』、Daniel Bowers氏、Chirag Dekate氏、Tony Harvey氏共著、Gartner社、2019年4月12日





課題2: セキュアなインフラストラクチャを維持する

パフォーマンスと柔軟性の要件が満たされている場合でも、IT環境には大きな障害が残っています。すなわち、セキュリティです。サイバー攻撃の脅威は急激に増大しており、攻撃を重ねるたびにハッカーたちもより巧妙になっています。今やソフトウェアとネットワークを保護するだけでは十分とはいえません。

セキュリティに関しては、サーバーのライフサイクル全体を包括的に把握するアプローチが不可欠となっています。サーバーは、脅威の検知、攻撃からの保護、リカバリを行うことで通常運用に迅速に復旧できるようにする、インテリジェントなツールやオプションを備えたものでなければなりません。



課題3: プロアクティブに対応する

かつてないほどに負荷が高まっている中で、IT部門はプロアクティブにニーズを予測し、数日や数週間ではなく瞬時にビジネスニーズに対応できるだけの柔軟性と容量を確保しておかなければなりません。

サーバーの監視と管理を簡素化し、展開とプロビジョニングを自動化することで、従業員の負荷を軽減して、真の価値を生み出す戦略的なイニシアチブに注力できるようにする必要があります。その第一歩として、運用に関する情報を自律的に収集するインテリジェントなサーバーを導入し、標準ベースのAPIから高度な管理、最適化、オーケストレーションを行うツールに至るまで、そのサーバーを共有します。



「ITエグゼクティブは、現在抱えている最大の課題の1つが、各ワークロードに最適な製品を特定することだと述べています。ベストプラクティスや手動での分析作業に頼っていた従来のアプローチでは、コストも時間もかかり過ぎています」

- IDC社、インフラストラクチャサービス担当プログラムディレクター、Jed Scaramella氏



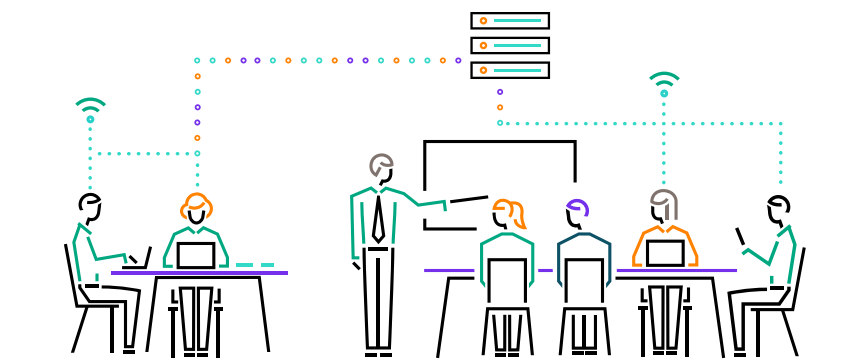
3. HPEのアプローチ

今日のハイブリッドクラウド環境では、サーバーを起点とするインテリジェンス基盤を活用した、柔軟なソフトウェア デファインドのアプローチが求められています。HPE ProLiantは、卓越したワークロード最適化、セキュリティ、および自動化機能のすべてをAs-a-Serviceで提供する、ハイブリッドクラウドのインテリジェントなコンピューティング基盤です。



ワークロードの最適化

HPE ProLiantの基盤となるインテリジェンスが、ワークロードのパフォーマンス、配置、効率の最適化に役立つ情報を提供してIT環境に変革をもたらし、短期間でビジネス成果を向上させます。



Workload Matching: HPE ProLiantに標準搭載されたWorkload Matching (ワークロード最適設定機能) は、HPEが数十年にわたって蓄積してきたパフォーマンスエンジニアリングの専門知識を、ユーザーが選択可能な事前構成済みのプロファイルに統合したもので、数百ものBIOS設定の組み合わせを自動的に最適化することで、サーバーリソースとワークロードの要件を完全に一致させます。この機能により、手探りでサーバーをチューニングする必要がなくなり、リスクも排除され、サーバーのワークロードのタスクに最も適したパフォーマンスと効率を得られます。

Workload Performance Advisor: ビジネスの要件やワークロードの特性に変更があると、サーバーリソースの調整が必要になる場合があります。Workload Performance AdvisorはWorkload Matchingを補完する機能であり、サーバーのパフォーマンスに関する運用面のフィードバックをリアルタイムで提供するとともに、ビジネスニーズの変化に合わせてBIOS設定をきめ細かく調整して最適化するための推奨事項を提示します。

HPE Right Mix Advisor: 1,000件以上のハイブリッドクラウド移行実績に基づいて構築されたHPE Right Mix Advisorは、ワークロードを最適な組み合わせのハイブリッドクラウドプラットフォームへと迅速かつ確実に移行するためのデータ主導のガイダンスを提供します。これにより、移行に必要な時間を数か月から数週間にまで短縮してコストを40%削減するとともに、ビジネスに固有のニーズに合わせてパフォーマンスを最適化することができます²。

² クラウドの経済性: その全体像を把握する

包括的なセキュリティ

世界標準の安心サーバーであるHPE ProLiantでは、製造のサプライチェーンからサポート終了時の安全な撤去までをカバーする、包括的かつ高度なセキュリティ対策を行っています。



- **セキュアなサプライチェーン:** HPE ProLiantのセキュリティ対策は、不具合のないサーバー生産から始まっており、ハードウェアとファームウェアのすべてのコンポーネントの完全性を監査することで、セキュアなサプライチェーンを通じてサーバーのライフサイクルが安全に開始されることを保証します。
- **Silicon Root of Trust:** Silicon Root of Trust (シリコンレベルの信頼性) では、サーバーの構築に先立ってHPE独自のASICにHPE ProLiantの基本ファームウェアを組み込み、サーバーの起動前に完全に一致することが求められる変更不能のフィンガープリントを作成します。これによって悪意のあるコードを阻止し、正常なサーバーを保護することができます。
- **サーバー構成ロック:** お客様が用意したパスワードによって保護されるサーバー構成ロックでは、サーバー構成のデジタルフィンガープリントを作成し、不正な構成変更や改ざんが検出された場合にサーバーが起動しないようにします。
- **セキュリティダッシュボード:** 単一のインターフェイスにより、サーバーセキュリティ全体のステータス、現状のセキュリティの構成とサーバー構成ロックに加え、さまざまなセキュリティ機能の状況を確認できます。また、セキュリティアラートの変更や設定管理にもアクセスできます。

- **セキュリティモード:** HPE Integrated Lights Out (iLO) が搭載されたHPE ProLiantは、Production、High Security、FIPS 140-2、CNSA (商用システムで最高レベルの暗号アルゴリズム) の4つのセキュリティモードを備えています。
- **サーバーシステムリストア:** サーバーが侵害を受けた場合に、オンライン状態、そして通常運用へと最短時間で復旧させることができるのが、HPE iLOのサーバーシステムリストア機能です。検証済みファームウェアの復元や、オペレーティングシステム、アプリケーション、およびデータ接続のリカバリ支援を含む自動リカバリが行えます。
- **One Button Secure Erase:** HPE ProLiantサーバーの廃棄や再利用にあたっては、One Button Secure Erase機能を使用することで、パスワード、構成の設定、およびデータの完全消去を迅速かつ簡単に行えるため、機密情報への不注意によるアクセスを防ぐことができます。

インテリジェントな自動化

HPE ProLiantに組み込まれたインテリジェンスが管理タスクを簡素化および自動化し、コンポーザビリティによって実現されるオープンなハイブリッドクラウドプラットフォームの強固な基盤となります。

- **HPE iLO RESTfulアプリケーションプログラミングインターフェイス (API):**
HPE iLOは、Redfishに完全に準拠したHPE iLO RESTfulアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を使用しているため、HPEや他社製の各種運用ツールおよびオーケストレーションツールで今日のクラウド/Webベースのインフラストラクチャをシンプルかつセキュアに管理することができます。
- **HPE iLO 5:** HPE ProLiantに組み込まれたHPE iLO 5は、サーバーのステータスを監視するHPE独自のコアインテリジェンスであり、レポート生成、継続的な管理、サービスアラート、ローカルまたはリモート管理機能によって問題の迅速な特定および解決を支援します。
- **HPE OneView:** HPE OneViewは、ハイブリッドクラウド環境のソフトウェアデファインド インフラストラクチャで基盤となるエレメントであり、自動化されたテンプレートベースのアプローチにより、コンピューティング、ストレージ、およびネットワークインフラストラクチャの展開、プロビジョニング、更新、統合をサポートします。
- **HPE InfoSight:** 数万台のサーバーの運用データを基盤とするHPE InfoSightは、サーバー運用に関するAI主導の有益な情報を継続的に提供し、IT運用に影響が生じる前に問題を予測して回避します。



As-a-Serviceでの提供

HPEでは、お客様がさまざまな方法でITを調達し利用することができます。従来の財務モデルやリースモデルだけにとどまらず、HPEは、未活用資本を活用するためのオプションをご用意し、インフラストラクチャのアップデートを支援するとともに、オンプレミスでの従量制の消費モデルを提供しています。

HPE Accelerated Migration: 従来の財務モデルでは、組織の財務上および会計上の規則により、ITインフラストラクチャを5~7年間、またはそれ以上保有することが求められる場合があります。インフラストラクチャを最新の状態に保ち、今日のビジネスニーズに対応できるようにするためにHPEが提供する新たなオプションが、[HPE Accelerated Migration](#)です。所有するIT資産を柔軟な従量制課金モデルに移行し、新たなIT投資の資金を確保するとともに、ITインフラストラクチャを定期的にアップデートするためのコスト効率のよい更新計画を作成することで、ITトランスフォーメーションの迅速な実現を後押しします。

HPE GreenLake: [HPE GreenLake](#)では、コスト、管理、ビジネス・アジリティを最適化するために、リソース使用量をリアルタイムで追跡して測定する従量制課金のIT消費モデルをオンプレミスで提供しており、ITキャパシティをいつでも使用して迅速に展開することができます。お客様は使用したリソースの料金を支払うだけで済み、オーバープロビジョニングによるコスト増のリスクを回避できます。



4. HPE PROLIANT の導入事例

HPE ProLiantは、ハイブリッドクラウドサービスを構築、提供、利用するためのインテリジェントなコンピューティング基盤です。共通のビルディングブロックとして展開可能で、完全なコンポーザブルプラットフォームを構築してさまざまな使用事例に対応できるため、すでに多くの組織で活用されています。



SaaSベースのERPおよびプライベートクラウドの財務データ

セグメント

中規模企業

使用事例

小売

ワークロード

大量のデータを処理するアプリケーション - ERP

課題

この自動車部品販売店では、レガシーなERP、財務アプリケーション、ITインフラストラクチャから脱却し、店舗を増やしつつ顧客からの問い合わせの際に部品在庫にタイムリーにアクセスできるようにする必要がありました。

HPEの提供価値

HPE ProLiantベースのハイブリッドクラウドプラットフォームが、コスト効率に優れたエンタープライズグレードの拡張性をもたらし、インフラストラクチャ管理の自動化を可能にしました。SaaSベースのERPアプリケーションがオンプレミスのプライベートクラウドの財務アプリケーションと連携して在庫情報や財務情報をリアルタイムで提供することで、ビジネスの意思決定が迅速化され、カスタマー・エクスペリエンスが向上しました。

HPEのソリューション

HPE ProLiant DL560 Gen10、HPE iLO、HPE InfoSight、HPE OneView、HPEファウンデーションケア、HPE GreenLake

Office 365のパブリッククラウドおよびプライベートクラウドの法務データ

セグメント

中規模企業

使用事例

クラウドサービスプロバイダー

ワークロード

コラボレーションアプリケーション

課題

パブリッククラウドでワークスペースの生産性向上ツールを提供するクラウドソリューションプロバイダーは、法務分野への参入を検討する中で、データ主権の問題に直面していました。

HPEの提供価値

HPE ProLiant for Microsoft Azure StackとMicrosoft Azureを組み合わせることで構築したハイブリッドクラウドソリューションにより、法務分野の顧客がパブリッククラウドでOffice 365にアクセスできるようになりました。また、プライバシーが重視されるアプリケーションやデータをプライベートクラウドで維持することで、セキュリティ関連の法規制も遵守しています。このクラウドサービスプロバイダーでは、一度アプリケーションを作成すれば、パブリックのAzureにもオンプレミスのAzure Stackにも展開することができます。

HPEのソリューション

HPE ProLiant DL360 Gen10 for Microsoft Azure Stack、HPE PointnextサービスのHPE導入サービス、HPEプロアクティブケア

クラウドネイティブなDevOpsおよびプライベートクラウドの患者データ

セグメント

大企業

使用事例

医療ソリューションプロバイダー

ワークロード

DevOps向けの仮想化/クラウド

課題


医療ソリューションプロバイダーでは、患者のケアを向上させて患者の機密情報を保持するための医療ITソリューションを迅速かつ継続的に開発して提供する必要がありました。

HPEの提供価値

この医療ソリューションプロバイダーでは、HPE ProLiant DL向けコンポーザブルクラウドの導入により、IT運用を自動化してアプリケーションやサービスをより迅速に提供できるようになりました。また、ハイブリッドクラウドにより、患者のデータをオンプレミスで保管することも可能となっています。オープンな統合APIは、お客様が選択したツールセットとも柔軟に統合できます。従量制モデルは経済性に優れており、利用状況に応じた予測可能で手頃な料金で医療ソリューションを提供できます。

HPEのソリューション

HPE ProLiant DL向けコンポーザブルクラウド、HPE iLO、HPE InfoSight、HPE OneView、HPE プロアクティブケア、HPE GreenLake Hybrid Cloud



パンフレット

5. まとめ

今日のクラウドの主流はハイブリッドです。すべてのニーズに単一のクラウド環境で対応する方法はありません。このため企業は、複雑な環境に対処しつつ、現在と将来のITニーズに対応できるハイブリッドクラウド戦略を策定するという大きな課題に直面しています。HPEはこうした課題を踏まえ、お客様が無駄なコストをかけることなくハイブリッドに移行できるよう支援しています。インテリジェントなHPE ProLiantサーバー基盤をベースとする、HPEの柔軟なソフトウェア デファインド アプローチでは、卓越したワークロード最適化、セキュリティ、および自動化機能のすべてをAs-a-Serviceで提供します。

Check if the document is available
in the language of your choice



HPEが最適な製品の選択をサポートします。
HPEのプリセールススペシャリストにお問い合わせください。



Chat



Email



Call



今すぐ共有



メールニュース配信登録


**Hewlett Packard
Enterprise**

© Copyright 2019 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いません。

Microsoftは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a50000548JPN、2019年12月